

公務災害防止事業の推進

▶ 安全管理セミナーを実施して ◀

神奈川県秦野市消防団

1. はじめに

秦野市は、神奈川県の中央西部に位置し、美しい緑と清らかな水が自慢の豊かな自然あふれる、人口約16万5千人の町です。

県下で唯一の典型的な盆地で、北側は神奈川県の屋根と呼ばれる丹沢山塊、南側は東西に走る渋沢丘陵で形成されており、ハイキングコースから健脚向けの登山コースまで多数あり、都心からのアクセスも良く、一年を通して登山客やハイカーが訪れます。四季折々の様々な自然があふれ、特に最近では桜の名所としても知られるようになりました。

また、環境省が主催した「名水百選 選抜総選挙」の「おいしさが素晴らしい名水部門」において、「おいしい秦野の水～丹沢の雫」が第1位を獲得いたしました。

2. 秦野市消防団の概要

本市消防団は、1団本部と7分団36部の379名（平成30年4月1日現在）で組織しており、うち女性団員は5名在籍しています。

消防団車両は、多機能型小型動力ポンプ付積載車2台、消防ポンプ自動車5台、小型動力ポンプ付積載車29台を配備しています。多機能型小型動力ポンプ付積載車は、平成28年度から配備し、消火資機材に加えて、救助資機材を搭載した車両であり、近年、複雑・多様化する災害に備えています。

3. 安全管理セミナー開催の経緯

前述したように、近年の災害は複雑・多様化、そして大規模化しています。それらに対応すべく、本市消防団は、年間を通して様々な研修や訓練を実施しています。県消防学校で、新入団員を対象とした消防活動の基礎訓練を行う「新入団員研修」、運転技術の向上やポンプ構造の知識の習得を目的とした「機関員研修」、常備消防との連携を深めるための「署・団合同訓練」等があります。そして今回、消防団幹部としての安全管理や健康管理に関する知識のさらなるスキルアップのため、毎年4月に行われる部長以上を対象とした「幹部研修会」において安全管理セミナーを開催いたしました。



4. 安全管理セミナーの様子

平成30年4月22日（日）に秦野市消防本部3階講堂にて、消防団の辞令交付式に引き続き、消防団幹部を中心とした団員52名、団担当職員4名が出席して安全管理セミナーが開催されました。講師にはS-KYT指導員の上木原講師をお招きして、テキストやパワーポイントを活

用して事故発生メカニズムや基本的な予防策などを話していただきました。



現場での安全管理だけでなく、予防が大切とのことで日常の健康管理にまで話が及んでいました。健康管理の講義では、高血圧による心疾患、脳疾患のリスクなど、日頃から深酒や寝不足など、不摂生な生活を送っている団員には少々耳の痛い話だったかもしれません。

終盤は数名の団員が前に出て、実際の災害出動前の健康チェックを実施するシミュレーション訓練なども取り入れていただき、聴講するだけでなく、体験も伴う、大変有意義な研修となりました。



講義後のアンケートでは、「今回の研修で得た知識を各部に持ち帰り広めていきたい」や、「また違った講義を受講してみたい」など様々な声が聞かれ、今回のセミナーは大変好評でした。

5. 今後の取組

消防団は全国的に、団員数の減少、平均年齢の上昇、サラリーマン団員の増加など、様々な問題に直面しており、当市も同様の状況です。しかし世間の消防団に対する期待は高く、それに応えるためにも団員の確保、資機材の充実とともに質の向上も図らなければなりません。当市では本年度で6回目となる「消防団フェスティバル」の開催や「学生消防団活動認証制度」、「消防団サポート制度」などを導入し、団員の入団促進を図っております。今後も、基金の企画・斡旋する様々な研修を活用し、市民から信頼される消防団となれるよう、そして地域防災力のますますの向上を目指して邁進していきたいと思っております。

